

BOSS AUDIO SYSTEMS

MGR350B

Bluetooth 対応 ゲージホールラジオ 日本語取扱説明書



設置・配線・基本操作・Bluetooth 接続・仕様・トラブル対応

本書について

本書は、BOSS Audio Systems が公開している英語版 MGR350B USER MANUAL / QUICK INSTALLATION GUIDE (VER:1.0 EN) を基に、日本語で読みやすい章立てに再編集した参考資料です。製品本体に印字されたボタン名、型番、規格名は識別のため英字表記を残しています。安全上の判断や施工条件に疑義がある場合は、原文と製品現物を確認し、専門業者へ相談してください。

原文 PDF: <https://www.projectk.co.jp/marine/pdf/MGR350B.pdf>

作成日: 2026年6月12日

目次

項目	ページ
1. 製品概要と同梱品	3
2. 安全上の重要事項	4
3. 取付方法	5
4. 配線方法	6
5. 基本操作とボタン機能	8
6. ラジオ・チューナー設定	9
7. オーディオ設定・システム設定	10
8. Bluetooth 接続と音楽再生	11
9. USB・AUX 入力	12
10. トラブルシューティング	13
11. 仕様	14
12. FCC 適合情報・商標・サポート	16

使用前に確認すること

- 本機は 12V バッテリー、マイナスアース方式で使用します。
- MGR350B は IPX6 相当の耐候設計ですが、水中へ沈めたり、水没させたりしないでください。
- 本体は車両・船舶等のバッテリーへ直接配線することが推奨されています。
- 設置前にバッテリーのマイナス端子を外してください。
- 配線作業、修理、取付に不安がある場合は、専門業者へ依頼してください。

重要

原文では、交換ヒューズの種類について配線図に「AGU」、仕様欄に「ATG」と異なる表記があります。交換時は現物のヒューズ形状、定格 15A、本体表示を必ず確認してください。

1. 製品概要と同梱品

MGR350B は、直径 3 インチ（約 76mm）のゲージホールへ取り付ける Bluetooth 対応ラジオです。FM/AM/Weather Band、Bluetooth 音楽再生、USB メモリー再生、AUX 入力、4 チャンネルアンプ出力、フロント・リア RCA ライン出力、サブウーファー出力設定に対応します。

1-1. 主な特徴

- Bluetooth 4.0 対応。A2DP / AVRCP 1.3 プロファイルに対応。
- FM / AM チューナーおよび Weather Band 受信に対応。
- USB メモリー内の MP3 / WMA 再生に対応。
- 4 チャンネル内蔵アンプ。RCA 出力、AUX 入力、サブウーファー設定に対応。
- 待機時電流消費を抑えた設計。
- IPX6 相当の耐候設計。ただし水没不可。

1-2. 同梱品

品名	数量	用途・補足
MGR350B 本体	1 台	ゲージホールラジオ本体
金属ブラケット	1 個	本体固定用 U 字ブラケット
六角取付スタッド	2 本	本体背面へ取り付け
M4 固定ナット	8 個	取付深さ調整および固定用
英語版ユーザーマニュアル	1 部	原文クイックガイド
保証カード	1 枚	保証関連書類
Facebook カード	1 枚	案内カード

1-3. 取付に必要な工具

工具	用途
メジャーまたは定規	穴位置・寸法の確認
レンチまたはプライヤー	ナットの固定
ホールソー	直径 76mm の取付穴加工
圧着工具	電源線・スピーカー線の接続

2. 安全上の重要事項

警告

設置・配線前に、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。本機は12Vバッテリー、マイナスアース方式専用です。誤った電源条件で使用すると、火災または故障の原因になります。

2-1. 使用時の注意

- 周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げないでください。
- 危険が予想される状況では慎重に使用し、必要に応じて一時的に使用を中止してください。
- 運転中は安全運転と周囲への配慮を最優先してください。
- 音量は低い状態から徐々に上げ、音割れや耳の不快感がない範囲で使用してください。
- 煙、異音、異臭、その他の異常を確認した場合は直ちに電源を切り、販売店または BOSS AUDIO の認定サービスセンターへ相談してください。異常状態のまま使い続けると、システムへ恒久的な損傷を与えるおそれがあります。

2-2. 施工時の注意

- 専門知識がない状態で、自分で設置または修理を行わないでください。電子機器や車両・船舶アクセサリーの施工経験がない場合、感電、けが、その他の危険が生じるおそれがあります。
- 修理は、資格や経験のある業者または BOSS AUDIO SYSTEMS のサービスセンターへ依頼してください。
- 本機はバッテリーへ直接配線することが推奨されています。
- プラス電源線を延長する場合は、バッテリーのプラス端子側に 20A 以上のインラインヒューズとヒューズホルダーを追加してください。
- アース線はできるだけ短くしてください。延長する場合は、配線長に適した太さの高品質な銅製一次電線を使用してください。
- 付属の取付部品を使用してください。別の固定方法を使用すると、保証が無効になる場合があります。
- スピーカー線をアースへ接続したり、短絡させたりしないでください。

注意

本機は IPX6 相当の耐候設計ですが、水中での使用や水没を想定した製品ではありません。

3. 取付方法

取付前に、パネル裏側の奥行き、配線スペース、工具の作業スペースを確認してください。取付穴の中心位置を決めた後、以下の順序で固定します。

3-1. 取付穴寸法

項目	寸法
取付穴の直径	3.00 インチ / 76mm
本体の外形目安	幅 約 90.2mm × 奥行 約 95mm
前面部の厚さ目安	約 20mm

3-2. 取付手順

1. パネルへ直径 76mm の取付穴を加工します。穴加工前に裏側の障害物、配線、補強材を確認してください。
2. 本体背面へ六角取付スタッド 2 本を取り付けます。
3. M4 ナットを動かし、パネル厚に合わせて取付深さを調整します。
4. 本体を取付穴へ通し、裏側から U 字金属ブラケットを装着します。ブラケットのブレークアウエイタブは、必要に応じて折り取り、取付深さへ合わせます。
5. 残りの M4 ナットを均等に締め、本体を確実に固定します。締め過ぎによるパネル損傷に注意してください。
6. 配線を固定し、防水処理を行います。端子や接続部に水分が侵入しないよう処理してください。

施工上の注意

取付部周辺へ水がかかる可能性がある場合は、パネル表面、配線接続部、ケーブル引込部を適切に防水してください。

4. 配線方法

警告

配線作業前に、バッテリーのマイナス端子を外してください。使用しない線は絶縁テープ等で確実に絶縁し、短絡を防止してください。黒線はアース線です。原文では、アース線を先に接続するよう指示されています。

4-1. 電源・制御線

線色	接続先	内容
黒	アース (-)	金属フレームの確実なアースポイント、またはバッテリーのマイナス端子へ接続
黄	バッテリー (+12V)	常時電源。バッテリーのプラス端子側へ接続
赤	アクセサリ (+12V)	ACC 連動電源へ接続
青	アンプリモート (+12V)	外部アンプ等のリモート制御線へ接続

4-2. スピーカー線

線色	接続先
緑	左リアスピーカー (+)
緑 / 黒	左リアスピーカー (-)
白	左フロントスピーカー (+)
白 / 黒	左フロントスピーカー (-)
グレー	右フロントスピーカー (+)
グレー / 黒	右フロントスピーカー (-)
紫	右リアスピーカー (+)
紫 / 黒	右リアスピーカー (-)

重要

スピーカー線をボディアースへ接続しないでください。スピーカー線同士を短絡させないでください。

4. 配線方法（続き）

4-3. 入出力端子

端子・ケーブル	内容	補足
AUX-IN（黄ケーブル）	外部オーディオ入力	L / R RCA 入力
FRONT LINE OUT（グレー）	フロントライン出力	L / R RCA 出力
REAR LINE OUT / SUBWOOFER（黒）	リアライン出力またはサブウーファー出力	システム設定で用途を選択
ANTENNA	ラジオアンテナ入力	アンテナを確実に接続
USB	USB 端子	USB メモリー再生に対応
USB CHARGE 5V / 1A	充電用 USB	携帯電話・iPod 等の充電用。原文では、この充電端子からのメディア再生は非対応

4-4. バッテリー直結回路の推奨条件

項目	原文の指示
主電源線	推奨 12 - 14 AWG の一次電線。高品質な銅線を使用
追加ヒューズ	プラス端子側へ 20A 以上のヒューズおよびヒューズホルダーを追加
バッテリーキルスイッチ	必要に応じて設置。原文では別売
アース線	可能な限り短くする。金属フレームの確実なアースポイントへ固定
複数機器のアース	パワーアンプ等の別系統機器は、異なるネジを使用して個別にフレームへ固定

4-5. ヒューズの注意

本機の交換ヒューズ定格は 15A です。交換時は、本体表示および現物の形状を確認し、同一定格のものを使用してください。

原文の表記差

配線図には「Replace Fuse with AGU type only」、仕様欄には「Replace with ATG Fuse Type Only」と記載されています。種類名の表記が一致しないため、交換部品の購入前に現物確認が必要です。

5. 基本操作とボタン機能

製品本体には英字のボタン名が印字されています。操作時に識別できるよう、英字表記を残して日本語の機能を併記します。

本体表示	基本機能	補足
電源 / 再生・一時停止	短押し: 消音解除または消音、再生中は一時停止 / 再開 長押し: 電源オン / オフ	ラジオ時とメディア再生時で動作が異なります
SRC	入力ソース切替	RADIO / BT AUDIO / USB / AUX-IN を順に選択
PRESET	プリセット選択	ラジオのプリセット 1 - 6 を順に選択
BAND	バンド切替	FM1 / FM2 / AM1 / WB1
VOL - / VOL +	音量調整	設定画面では項目値の変更にも使用
前へ / 次へ	曲送り・曲戻し、選局	ラジオ: 短押しで手動選局、長押しで自動選局 再生: 短押しで曲移動、長押しで早戻し / 早送り
DISP / ENTER	表示切替・決定	ラジオ情報または曲名・ID3 情報を表示。メニューでは決定
FUNC	機能設定	長押しでチューナー機能メニューへ
AUDIO / MENU	音質・システム設定	短押しでオーディオ設定、長押しでシステム設定

5-1. 入力ソース

表示	用途
RADIO	FM / AM / Weather Band 受信
BT AUDIO	Bluetooth 接続機器の音楽再生
USB	USB メモリー内の MP3 / WMA 再生
AUX-IN	外部機器のアナログ音声入力

バッテリー上がりの防止

原文では、使用中はエンジンを始動するよう案内されています。エンジン停止中に長時間使用すると、バッテリーが消耗する場合があります。

6. ラジオ・チューナー設定

6-1. ラジオの基本操作

1. SRC を押して「RADIO」を選択します。
2. 電源 / 消音ボタンを押すと、消音と消音解除を切り替えます。
3. 前へ / 次へボタンを押して選局します。短押しは手動選局、長押しは自動選局です。
4. DISP を押すとラジオ情報を表示します。
5. PRESET を押すと、プリセット 1-6 を順に呼び出します。
6. BAND を押すと、FM1 / FM2 / AM1 / WB1 を切り替えます。

6-2. チューナー機能メニュー

FUNC を長押しし、VOL - / VOL + で項目を選び、ENTER で決定します。

項目	機能
A-STORE	受信状態の良い放送局を自動検索し、選択中のバンドのプリセットへ保存
M-STORE	受信中の放送局を手動でプリセットへ保存
LOCAL	ON: 強い信号の放送局のみ受信。OFF: 強弱を問わず受信
AREA	受信地域を USA / EUROPE / ASIA / AUST から選択
RDS	RDS 機能のオン / オフ
AF	ON: 同一番組識別情報を持つ、より強い局を自動検索。OFF: AF 機能を停止
TA	ON: 交通情報を受信すると一時的にチューナーへ切替。終了後は元のモードへ復帰
PTY	番組種別を選択して検索。RDS 放送および地域条件に依存

地域依存機能

RDS、AF、TA、PTY、Weather Band は、放送方式や地域条件に依存します。日本国内ですべての機能が利用できることを保証する記載ではありません。

7. オーディオ設定・システム設定

7-1. オーディオ設定

AUDIO / MENU を短押しし、VOL - / VOL + で項目または値を変更し、ENTER で決定します。

項目	設定内容
EQ	FLAT / JAZZ / POP / CLASS / ROCK / TECHNO / VOCAL / USER
xBASS	ON / OFF
BASS	低音レベルを調整 (原文画面例: -7 - +7)
MID	中音レベルを調整 (原文画面例: -7 - +7)
TREBLE	高音レベルを調整 (原文画面例: -7 - +7)
BALANCE	左右の音量バランスを調整 (原文画面例: L12 - R12)
FADER	前後の音量バランスを調整 (原文画面例: F12 - R12)
REAR OUT	LINE OUT または SUBW OUT を選択
SUBW	サブウーファー出力 ON / OFF
LPF	サブウーファー用ローパスフィルター: 80Hz / 120Hz / 160Hz
SUBW LEVEL	サブウーファーレベルを調整 (原文画面例: 00 - 12)

7-2. システム設定

AUDIO / MENU を長押しし、VOL - / VOL + で項目を選び、ENTER で決定します。

項目	機能
BT	登録済みの携帯電話または Bluetooth 機器を手動で再接続 / 切断
BEEP	操作音のオン / オフ
RESET	工場出荷時設定へ戻す
ABOUT	ハードウェアおよびソフトウェアのバージョンを表示

8. Bluetooth 接続と音楽再生

8-1. 新しい Bluetooth 機器をペアリングする

1. MGR350B の電源 / 再生・一時停止ボタンを約 1 秒長押しして電源を入れます。Bluetooth アイコンが点滅し、ペアリング待機状態になります。
2. ペアリング操作は約 2 分以内に行ってください。時間を過ぎた場合は、最初からやり直します。
3. Android 端末では「設定」から Bluetooth 画面を開き、スキャンを実行します。iOS 端末では「設定」から Bluetooth 画面を開きます。
4. 利用可能な機器の一覧から「MGR350B」を選択します。
5. パスコードを求められた場合は「0000」を入力します。
6. 接続が成功すると、MGR350B の表示に「CONNECTED」が表示され、確認音が鳴ります。

8-2. 再接続

- MGR350B と最後に接続した Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにしてから、本機の電源を入れると、自動的に再接続します。
- 以前ペアリングした機器でも、最後に接続した機器ではない場合は、端末の Bluetooth 画面を開き、利用可能な機器から「MGR350B」を選択してください。
- 機器が通信範囲外へ移動すると自動的に切断されます。範囲内へ戻った後、電源 / 再生・一時停止ボタンを 1 回押すと再接続します。

8-3. Bluetooth 音楽再生

1. SRC を押して「BT AUDIO」を選択します。
2. 電源 / 再生・一時停止ボタンで再生と一時停止を切り替えます。
3. 前へ / 次へボタンで曲を移動します。長押しすると早戻し / 早送りします。
4. DISP を押すと、曲の ID3 情報を表示します。

通信距離

Bluetooth 通信距離の原文仕様は約 33 フィート / 10m (Class 2) です。障害物、周囲の無線環境、接続機器によって実際の距離は変わります。

9. USB・AUX 入力

9-1. USB メモリー再生

1. USB メモリーを USB 端子へ接続します。
2. SRC を押して「USB」を選択します。
3. 電源 / 再生・一時停止ボタンで再生と一時停止を切り替えます。
4. 前へ / 次へボタンで曲を移動します。長押しすると早戻し / 早送りします。
5. DISP を押すと、曲の ID3 情報を表示します。

項目	仕様
対応形式	MP3 / WMA
曲数	最大 65,000 曲
容量・フォーマット	最大 32GB / FAT32
USB 規格	USB 2.0 High Speed
USB 出力	5V DC / 1A

9-2. メディア再生機能

機能	内容
REPEAT	ALL: 全曲リピート / Song: 現在曲をリピート / Folder: 現在フォルダー内をリピート
RANDOM	曲をランダム順で再生
INTRO	各曲の先頭約 10 秒を再生

9-3. AUX 入力

1. SRC を押して「AUX-IN」を選択します。
2. 電源 / 消音ボタンで消音と消音解除を切り替えます。
3. 接続した外部機器の音量は、目安として最大音量の 75%程度に調整します。

充電用 USB の注意

原文の配線図にある「USB CHARGE 5V / 1A」は充電専用です。携帯電話や iPod の充電に使用できますが、この充電端子からのメディア再生には対応しません。

10. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	ヒューズが切れている	ヒューズを確認し、必要に応じて交換
電源が入らない	ACC 電源がオンになっていない	イグニッションまたは ACC をオンにする
音が出ない	スピーカーが故障している	故障したスピーカーを交換
音が出ない	音量が低い、または消音状態	音量を上げ、消音を解除
音が出ない	接続機器が一時停止または消音状態	接続機器の再生状態と音量を確認
Bluetooth でペアリングできない	接続機器の Bluetooth 機能が有効になっていない	接続機器の取扱説明書を確認し、Bluetooth 機能を有効化
Bluetooth でペアリングできない	MGR350B の Bluetooth メモリー一杯	システム設定の BT 項目を使用し、再接続手順を確認
Bluetooth 接続後の音質が悪い	Bluetooth 受信状態が悪い	接続機器を本機へ近づけ、障害物を取り除く
サブウーファーから音が出ない	サブウーファーレベルが消音または低い	SUBW LEVEL を調整
サブウーファーから音が出ない	SUBW OUT が有効になっていない	REAR OUT および SUBW 設定を確認
操作を受け付けけない	一時的な電源異常または干渉	電源を約 10 秒間外してリセット
操作を受け付けけない	バッテリー電圧が低い	バッテリーを充電する。必要に応じてエンジンを始動
操作を受け付けけない	システムリセットが必要	システム設定の RESET を実行

修理が必要な場合

煙、異臭、異音、発熱、繰り返すヒューズ切れがある場合は使用を中止し、専門業者へ相談してください。

11. 仕様

11-1. ラジオ受信部

項目	仕様
FM 受信周波数	USA: 87.5 - 107.9MHz / Europe・Asia・Australia: 87.5 - 108MHz
FM 実用感度	12dB (S/N=30dB)
FM バンド数	2
AM 受信周波数	USA: 530 - 1710kHz / Europe・Asia・Australia: 522 - 1620kHz
AM 実用感度	40dB (S/N=20dB)
AM バンド数	1
Weather Band	CH1 162.400 / CH2 162.425 / CH3 162.450 / CH4 162.475 / CH5 162.500 / CH6 162.525 / CH7 162.550MHz
Weather Band 数	1

11-2. Bluetooth・USB

項目	仕様
Bluetooth	BT 4.0
通信距離	約 33ft / 10m (Class 2)
プロファイル	A2DP / AVRCP 1.3
USB 対応形式	MP3 / WMA
USB メモリー	最大 65,000 曲 / 32GB / FAT32
USB 規格	USB 2.0 High Speed
USB 出力	5V DC / 1A

11. 仕様（続き）

11-3. 内蔵アンプ

項目	仕様
方式	MOSFET / Class AB
最大連続出力	240W（全チャンネル駆動）
ピーク出力	63W / チャンネル
RMS 総出力	150W
チャンネル数	4
周波数特性	20Hz - 25kHz
対応負荷	4Ω 安定動作

11-4. 本体・入出力

項目	仕様
本体寸法 H × D × W	0.79 × 3.75 × 3.5 インチ / 20 × 95 × 90.2mm
ボタン照明	赤色 LED
フロント / リア RCA プリアンプ出力	2V RMS
RCA 入力インピーダンス	10kΩ
ディスプレイ	TFT TN 方式 / Active Matrix

11-5. 一般仕様

項目	仕様
電源	14.4V DC（許容範囲 10.8 - 16V）
アース方式	マイナスアース
最大消費電流	15A
保護回路	温度、過負荷、スピーカー短絡の3系統保護
質量	1.08lb / 0.52kg
保管温度	5 - 113°F / -15 - 45°C
動作温度	14 - 104°F / -10 - 40°C
交換ヒューズ	15A。種類名は原文内で表記差があるため現物確認

注記: 原文では、仕様は予告なく変更される場合があると記載されています。

12. FCC 適合情報・商標・サポート

12-1. FCC 適合情報（原文の要旨を日本語化）

本機は FCC 規則 Part 15 に適合しています。動作には、(1) 有害な干渉を発生させないこと、(2) 意図しない動作を引き起こす可能性がある干渉を含め、受信した干渉を受け入れること、という 2 つの条件が適用されます。

本送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、組み合わせて使用したりしないでください。Bluetooth アンテナを利用者が取り外したり、交換したりすることはできません。本機は、非管理環境に対して定められた FCC / IC の高周波曝露制限、FCC RF 曝露ガイドライン、IC RSS-102 の基準に適合すると記載されています。放射部は、手、手首、足、足首を除き、人体から 20cm 以上離して設置・使用することが望ましいとされています。

適切な許可を得ずに改造または変更を行うと、本機を使用する権利が無効になる場合があります。

本機は FCC 規則 Part 15 に基づく Class B デジタル機器の制限に適合することが試験で確認されています。ただし、個別の設置環境で干渉が発生しないことを保証するものではありません。ラジオやテレビの受信へ干渉する場合は、次の方法を試してください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変更する。
- 本機と受信機の距離を広げる。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路へ本機を接続する。
- 販売店または経験のあるラジオ / テレビ技術者へ相談する。

12-2. 商標表示

Bluetooth のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、BOSS Audio Systems はライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

iPod および iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。BOSS Audio Systems は Apple Inc. と提携していません。

12-3. 技術サポート

項目	内容
メーカー	BOSS Audio Systems
所在地	3451 Lunar Court, Oxnard, CA 93030, USA
電話	1-805-751-4853
Web	www.bossaudio.com
サポート	www.bossaudio.com/support
原文 PDF	https://www.projectk.co.jp/marine/pdf/MGR350B.pdf

最終確認

本書は英語版を基にした日本語再編集版です。施工前、ヒューズ交換前、規格確認時は、製品現物の表示および原文 PDF を併せて確認してください。